

滋賀県がん診療連携協議会・第2回相談支援部会

日時：平成28年10月14日（金）17:00～19:00

場所：県立成人病センター東館1階 講堂

（敬称職名略）

【部会長】成人病センター 山内、

【副部会長】大津赤十字病院 芥田、市立長浜病院 伏木、

【部会員】滋賀医科大学附属病院 木村、

成人病センター がん相談支援センター 岡村、

公立甲賀病院 がん相談支援部 柴田、

彦根市立病院 がん相談支援センター 田中、

市立長浜病院 がん相談支援センター 新川、

高島市民病院 地域医療連携室 大塚、

大津市民病院 地域医療連携室 山澤、草津総合病院 吉村、

済生会滋賀県病院 がん診療支援センター 山田、

近江八幡市立総合医療センター 地域医療課 嶋田、

長浜赤十字病院 がん診療支援室 寺村（代：垣見）、東近江総合医療センター 長岡、

滋賀県歯科医師会 柴田、滋賀県薬剤師会 渡邊、

滋賀県看護協会 西村、滋賀県歯科衛生士会 長谷川、

滋賀県がん患者団体連絡協議会 菊井（代：八木）、須藤、滋賀県健康医療福祉部 奥井、

成人病センター 嶋田

【事務局】成人病センター 地域医療連携室 柳

【欠席部会員】大津赤十字病院 がん相談支援センター 山本、滋賀県医師会 重永

【オブザーバー】

NPO 法人淡海かいつぶりセンター 時田、滋賀産業保健総合支援センター 高津

成人病センター 地域医療連携室 横江、山脇

1. 部会長あいさつ

（山内部会長）

今回オブザーバーとして NPO 法人淡海かいつぶりセンターの時田さん、滋賀産業保健総合支援センターの高津副所長に一言お願いする。

（自己紹介）

2. 【審議事項】

（1）平成28年度相談支援部会の取り組み評価（中間評価）について

（事務局）

- ・平成28年度実施計画に基づき実績・取り組み内容を報告。ほぼ計画どおりで目標を達成したことで「A」の評価をさせていただき、部会員の承認をいただいた。

(2) がん相談後のアンケートの状況について

(成人病センター)

- ・ 相談後のアンケートの回収率が少ない。回収率を上げる方法として相談中、アンケートを目に付くようなところに置いておく。相談後必ず全員にアンケート記載をお願いするという意見があった。

(3) 相談支援シートの標準化について

(成人病センター)

- ・ 相談員 WG では退院支援を含まず、がん相談の数字で相談件数をあげるという意見がでた。
- ・ 拠点病院と拠点病院で相談件数の計上の仕方が違うことが照会にて判明した。
- ・ 新しい相談記入シートを使ってみて、問題点を出して解決していく方法を来年度から行う。

3. 【報告事項】

(1) 平成 27 年度セカンドオピニオン受け入れ紹介状況について

- ・ 受入状況は成人病センターが平成 26 年より少なくなっていたが大津赤十字病院、草津総合病院の件数が増え前年度と変わりなく 166 件であった。
- ・ 紹介状況は平成 26 年より少なくなっている。
- ・ セカンドオピニオンで多い疾患は大腸がん、胃がん、膵がんであった。

(2) がん相談支援センター等の相談員の資質向上について

- ・ がん相談支援センター相談員研修会の開催(平成 28 年 9 月 30 日開催)
- ・ がん相談員スキルアップ研修会の開催(平成 28 年 12 月 9 日開催予定)
- ・ 事例検討会の開催(平成 29 年 2 月 24 日開催予定)
- ・ 「地域支援フォーラム in 近畿」について(平成 30 年 2 月 17 日奈良にて開催予定)

(成人病センター)

- ・ 9 月 30 日開催のがん相談支援センター相談員研修会でアンケートを行い、概ね理解できた、理解できたという結果だった。

(3) 滋賀県がん患者団体連絡協議会の報告事項

(がん患者団体連絡協議会)

- ・ 患者力向上事業として 11 月 26 日に「がんと診断された時から緩和ケア」を米原駅近くの文化産業交流会館で公開講座を開催する。
- ・ 第 6 期ピアサポーター養成講座を開催中である。

(4) 県の報告事項

(県健康医療福祉部)

- ・ 今年度新規に実施している「がん患者の家計プラン事業」「がん患者就労支援」「がん患者妊孕性温存治療助成事業」「がん患者アピアランス、外見面の相談支援」について意見をいただきたい。

- ・アピアランスはウィッグやリハビリメイク、義足などたくさんの範疇が含まれており、そのことについてちゃんと相談するという手挙げは敷居が高い気がする。
- ・アピアランスだけを取り上げることなく、がん患者の社会参加促進のために支援を行っていききたい。

(5) 協議会事務局の報告事項

(協議会事務局)

- ・10月8日、9日に開催されたリレー・フォー・ライフ・ジャパン滋賀医科大学ご協力ありがとうございます。700名来場されそのうち学生は150人であった。来年度以降もカレッジリレーという形で回りたいと意見があった。
- ・学生の参加が多くあり、医療関係者、病院関係の参加が少なかったということもあり今後は可能な限り参加していく。

(6) その他

(滋賀産業保健総合支援センター)

- ・滋賀産業保健総合支援センターでは治療と職業生活への復帰ということに的を絞り対応を行っている。労働者、患者から申し出による事業者から滋賀産業保健総合センターへ相談といった事業を本格的に取り組むため、周知目的で本日相談支援部会に参加させていただいた。
- ・チラシは必要部数を後日郵送可能である。

(山内部会長)

- ・メーリングリストの活用をお願いします。連絡あるいはイベント紹介などに使ってもらい、もう少し密に連携をとりたい。

以上